

藤白台小学校

海洋ワークショップ内容 打ち合わせ

■ 日程 11月20日(金) 13:45~15:20 (5,6時間目)

(13:15IN -13:25 事前打ち合わせ)

■ 対象 小学4年生3クラス

1組(男21、女18、計39名)

2組(男20、女18、計38名)

3組(男21、女17、計38名)

■ 流れ

学習活動	主な展開、発問など	留意点
導入	<p>先生「海で道德の授業の打ち合わせをしていたら、カメがゴミに絡まっていたので助けたんです」</p> <p>浦島「劇団員の浦島です。で、カメさんが、そのお礼に竜宮城に連れて行ってくれるとのこと！」カメさん、どうぞ！</p> <p>→カメ 登場</p> <p>カメ「こんにちは！あの…ごめんなさい！さっき竜宮城の乙姫さんに連絡を取ったら…あかんって怒られて…ごめんなさい、なしになりました！」</p>	
海洋のゴミについて知る	<p>浦島「ええー！なんで？」</p> <p>亀「ゴミだらけなんです…」</p> <p>浦島「どんなゴミが多いの？」</p> <p>亀は、ジェスチャーや、パントマイムでゴミの種類を説明する。</p> <p>例) レジ袋→白くて…クラゲみたいなのとか…</p>	

<p>14:00</p>	<p>児童にあててもらおう … が、亀ものの名前がわからない。</p> <p>浦島「困ったなあ。誰か、ゴミに詳しい人おらへんかなあ」</p> <p>亀「もしもし、海博士。あ、わかりますか！」</p> <p>海博士による、動画映像による解説（5分）</p> <p>「海洋ゴミの問題」</p>	
<p>身の回りのプラスチック探し</p>	<p>浦島「え？探してみてね…ってええ〜。」</p> <p>亀「博士から、スライドが！」</p> <p>博士のスライド 身近なプラスチック色々</p> <p>プラスチックは自然に消えてなくなる</p> <p>先生「身の回りのプラスチックを探してみよう」</p> <p>ワークシート配布・1) に書いてもらおう</p>	<p>・リサイクルマーク「プラ」のもの</p> <p>・ポリ**とつくもの例) ポリエステル、ポリエチレンを探す</p>

<p>14:22</p> <p>14:25</p>	<p>浦島「めっちゃ使われてるやん。わかりました！もう、プラスチックは使わない！」</p> <p>先生「でも、これだけ使われてるってことは何か意味があるんじゃ…」</p> <p>先生 vs 浦島の喧嘩</p> <p>亀「まあまあまあ。博士から、動画が届いています」</p> <p>海博士の動画 3分</p> <p>次の時間に、どうやったらいいか考えてもらおうか！</p>	
	<p>休み時間</p>	
<p>海洋ゴミの解決方法は？</p>	<p>亀「どうやったら海がきれいになるか、考えて欲しい」</p> <p>浦島「(先生に) 普段の買い物など、どうされてますか？」</p> <p>先生「エコバッグ・ゴミ分別など」</p> <p>・ワークシート2) の記入</p>	<p>・解決方法をワークシートに記入</p>

<p>ふりかえり</p> <p>15:10-15</p>	<p>海博士の動画「世界で取り組んでいること SDGs/買 い物袋を持って帰ろう」</p> <p>・感想を発表・感想シートに記入。</p>	<p>・感想を記入</p>
------------------------------	---	---------------

■ 体制

藤白台小学校

演劇 WS 講師：紙本明子、黒木陽子、森谷朋希、アシスタント：高田彩美、高田晴菜、笠原健司

プログラム作成：大阪大学大学院工学研究科 飯田隆人、一般社団法人フリンジシアターアソシエーション

監修・協力：大阪大学大学院人間科学研究科（蓮行 特任研究員）、国連大学サステナビリティ高等研究所（堀啓子 研究助手）、大阪大学ユ

ネスコチェア

事業名：海洋教育パイオニアスクールプログラム

助成元：日本財団